

# 町田通勤寮だより

NO 79  
2020年 3月

社会福祉法人つるかわ学園 町田通勤寮

〒194-0045 東京都町田市南成瀬1-5-3

電話 042 (739) 0491

## 巻頭言

寮長 三階 広明

新型コロナウイルスへの対応でバタバタの2月が経過しましたが、終わりが見えない状況は、精神的に何となく重苦しいものがあります。

イベントや一定規模以上の人が集まる催しの中止や変更が相次ぎ「自粛モード」の中で何となく世の中が縮こまっていくのは違和感を覚えます。

皆さんはいかがでしょう？利用者さんの努めている事業所も「苦勞をしているようです。（休みが増えたと喜んでいる利用者さんもいるようですが、お給料が減ることには思いが至らないようです。）

今年度も「第三者評価」を受審しました。事前提出書類の記入をしていると、自分が本当に仕事できていないのを痛感します。次年度に向けて、自分の仕事を見直していきたいと思えます。

さて、新年度が始まります。特別支援学校の卒業式を終えた利用者さんが二十日過ぎから入寮してきます。合わせて、利用期限が近づいてくる利用者さんが地域移行していきます。今春は女性の利用希望が少なく、女性利用者の方は少し寂しい雰囲気が見られますが、全体としては昨年四月より利用者の確保ができそうです。

より充実した支援を目指して努力していきたいと考えています。ご理解とご支援をお願いします。

最後にいつものようにスポーツの話題から。

様々な競技で五輪代表の内定が進んでいます。開催自体が未確定な中、選手たちはどんなモチベーションで臨んでいくのでしょうか。「最大限の準備をしていきます。」等のコメントが多いのですが、本当にそんな環境で準備させることが、「アスリートファースト」なのでしょうか。一ファンである私たちにできることは何なのでしょう。メダルの色や数に一喜一憂せず考えていきたいと思っています。

## 2019年度 新年会 成人を祝う会

主任支援員 武智 里峰

2020年1月19日、町田通勤寮『新年会・成人を祝う会』が開催されました。

今年は、当法人・早川理事長をはじめとし、フクシア市川センター長、こころ芹澤センター長、就労支援りんく・藤本センター、ご家族は勿論の事、支援学校の先生、他就労支援機関・施設職員の方々もご招待し、皆さまお忙しい所、参加してくださいました。



少し緊張気味？

手作りのお祝い料理（調理職員総出）がテーブルに並び、利用者の皆様並びに職員はスーツでビシッと決め、緊張感もありつつ和やかな雰囲気の中、会が行われました。

今年晴れて成人を迎えた方、男性3名でした。

一人一人抱負を語り、聞いている職員の方がドキドキしてしまいましたが、3名共、立派に抱負を語って下さい、自分が思っていた以上に成長していた事に驚き感動しました。

また、普段交流が持てない調理職員、ご家族、関係機関の方々との貴重な時間を一緒に過ごす事が出来るのも、この会ならではの良さでは無いのでしょうか。食事・ビンゴゲームを楽しみ、最後の閉めは、来賓の誠明学園・笹森氏の挨拶で終わりました。

東京オリンピック。パラリンピックの年です。

皆様にとっても飛躍できる年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。



早川理事長祝辞



手作りお祝い料理😊

## 地域生活講座 ～自立に向けた取り組みとその一歩～

支援員 入江 就仁

「自立とは何か」。今、いらつしやる利用者の方は日々、その見えない壁に立ち止まってしまいうことも多いです。今回、自立をすることへの理解や目的、取り組みなどをより分かって頂くため、講座の開催に至りました。

1月30日(木) 通勤寮食堂にて、講師として利用者さんに説明をさせてもらいました。基本的に自立とは個々の考えによって、大きくとらえ方が変わってしまうため、通勤寮生活を送っていること自体が自立の第一歩！であることを再認識して頂くことから始めました。自立に向けて通勤寮で生活し、サポートを受けることは様々な背景がある中で自ら選択し、決めたことである。生活を送りながら、仕事やプライベートを充実させる。それが自立に向けた取り組みの一つであること。

取り組みは様々ですが、グループホームや単身生活を想定した時に市役所での手続きが最初に一番、壁として迎える方が多いため、転出から転入までの流れ・住民票の取得など必要な手続きが行えるよう説明いたしました。いざ、一人で行おうとすると難しい手続きとなるため、状況に応じて職員が同行し、流れを一緒に確認するなど対応させてもらっています。

最後に自分が通勤寮を卒業してどのような暮らしを目指すのか、どういうことに挑戦したいかを再確認していただくため、グループホームと単身生活の違い、メリット・デメリットなど説明し、目指すべき生活像を考えるともらいました。現在、グループホーム・単身生活共に半々の希望人数となっていますが、自ら選択し、道を歩むことも自立の一つであることを確認いたしました。

今回、自立に向けてというテーマで話した事はこれからの生活において、特に重要な位置づけだと感じているため、時間をとって頂きましたが、説明者が感じたよりも利用者さんが真剣に耳を傾けてくださり、質問も多く

出してもらいました。そういう所から個々の利用者さんの自立に向けた思いを共有でき、良い機会を与えてくれたことに感謝しています。皆さんの今後の生活に役立ちますように。

## 防災講座

支援員 石田 順子

2月8日(土) 昨年と同じ場所、横浜市民防災センターで防災講座が行われました。防災体験を通して、防災・災害時に必要なことを身に付け災害に備える気持ちを養うのが目的です。

同センターは、インストラクターの説明を受けながら、災害シアターや地震体験等を約1時間かけてまわります。

①災害シアター②地震シミュレーター③減災トレーニング④火災シミュレーター⑤ハザードマップ体験のトータル5種類受講しました。

①④は去年受講された利用者さんからの手ほどきもあり、割とスムーズに進みましたが、⑤の時には四苦八苦していました。2グループに分かれ1グループずつ家の中で異なった災害のシチュエーション(前半は家屋倒壊クラスの地震・後半は地滑りと浸水)でどう行動するか、何に気をつけるのか等をモニター越しにインストラクターから講義を受けるので、モニターを見ていたグループは同じ過ちをしないと意気揚々と臨みますが、結果は…という事になりました。

同じ場所で、内容も同じなの？との声が聞かれましたが、1年もすれば災害対策の対応の仕方は変わります。積極的に地震体験や消火器使用などに参加し、充実した講座になりました。

## 東社協 分科会・学習会 〈成年後見制度〉

支援員 浅田 恵理子

2月6日に飯田橋セントラルプラザで開催された東社協の地域支援分科会 成年後見制度学習会に参加しました。

江東社会福祉士会 会長の間庭尚之氏を講師にお招きし、実際に間庭氏が成年後見人としてかかわった事例やDVD鑑賞を通して分かりやすくお話いただきました。

成年後見制度には2種類あり、元気なうちに将来に備えて自分の意思で後見人を決めておく任意後見制度、判断能力が衰えてしまった人に対して成年後見人を選任して法的に権利を擁護する法定後見制度(補助・補佐・後見)です。

事例では認知症高齢者の独居の方で自宅は荒れて水道が止められており、介護保険も利用していなかった(後に利用し要介護2)困難例で、ケアマネージャーや近隣の方の協力があって必要な支援を受けられるようになった例です。

しかしその過程で支援者を受け入れるまでに2カ月半がかかり、地道な訪問で信頼関係を築くことで悪徳業者から守り、有料老人ホームへ送り出せた成功例となったようです。

成年後見人となれば、家庭裁判所へ少なくとも年に1度は生活や財産の状況など報告をすることなどが求められているとのことでした。

親なき後問題への応用ということで、障害のあるお子さんを持つ家族の将来的な事を考えて成年後見制度を応用し、その中でも複数後見(母と専門職)を利用することもできるという事を知りました。専門職とは弁護士や司法書士、社会福祉士などが該当するとのことでした。

通勤寮でも成年後見制度が必要になるケースもゼロではないので、今回の研修はとても有意義な時間となりました。

## 町内会 餅つき大会

支援員 小林 美樹

1月26日(日)通勤寮近くの南成瀬小学校で町内会の餅つき大会が行われました。天気予報では雨だったので心配されましたが無事決行されました。

寮長と利用者さん2名体験の方1名参加されました。もちろん杵と臼での餅つき大会です。初めて見る利用者さんもいて興味津々の様子でした。そして実際に杵で餅をつかれた利用者さんもうらっしゃいました。

お土産は、きな粉+ゴマ+あんこ3個入りのお餅を頂いて帰って来ました。当日出勤していた職員もいただき、つきたてのお餅は格別な味でも美味しくかったです。

昔からの風習・仕来り等が廃れていく事が多い中で、杵と臼での餅つきは、利用者さん達も新鮮で楽しい時間を過ごされたのではないのでしょうか。そして出来る事ならば、これからもずっと続いて欲しいと願っています。

## 調理実習

調理員 高橋 典子

2月23日に今年度最後の調理実習を行いました。

「栄養をつけて風邪を吹き飛ばそう」と題して、和風豆腐ハンバーグ・ブルコリーとひじきのサラダ・ネギとニンニクと生姜のスープ・りんご飴の4品を作りました。今回は3名での実施でしたが、初参加の方がいらしたので少し不安もありました。しかし始めてみると、包丁使いもとても上手で、手際良く出来ていました。職場で調理のお手伝いをされているとのことでした。



何度も調理実習に参加されている利用者さんは、年度初めはおぼつかなくなかった玉ねぎのみじん切りが、いつの間にかきれいにスピーディに出来ていました。デザートは、りんご飴を作りました。今まで一度も食べたことがないので、是非実習で作りたいんです！という、利用者さんの熱いリクエストにおこたえしました。今回は、普通のりんごを1/6の大きさにカットして使用しましたが、秋に入りたての頃でしたら姫りんごで作ると可愛らしく仕上がり、オススメです。作っている時からワクワク楽しそうで飴を絡めるタイミングも上手に出来ました。皆さん満足そうに会話もはずませながら美味しいと言って完食されました。次回の調理実習は、4月12日に行う予定です。ひとり暮らしの時に役に立つ様な献立を、一緒に学ぶ良い機会です。皆様のご参加お待ちしております。



次は姫リンゴで😊

## 今後の主な予定

- 4月5日（日）オリエンテーション・BBQ
- 4月17日（金）3名推進課 生活教養講座
- 5月17日（日）保護者会

◆町田通勤寮だよりのバックナンバーはつるかわ学園公式HPよりご覧になれます。